

施設名	第二学童保育所以下6か所		
指定管理者名	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会		
指定管理期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・月次報告書	S	新型コロナウイルス対策としての消毒や衛生管理等の通常の範囲外となる様々な対応について、各クラス正規指導員を二名配置されていることにより、平常通りの人員配置をもって行うことができた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	S	定められた期限に確実に報告されている。また、期限前に提出することを常態としている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・現地調査・危機管理マニュアル	S	市、学校との連携により、密を避けるためのスペース提供を受けるなど、利用者にとってより安全な場を提供することができた。警察を現場に呼んでの不審者対応訓練などを実施し、現地に即した指導を受け、より安全性の確保に努めた。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けるためのスペース確保など、利用者の安全確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な作成および保管に努めた。	A	業務記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。 災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	A	青梅市社会福祉協議会の緊急時体制に基づき体制を整備している。	A	危機管理マニュアルや関係機関連絡先一覧などを作成し体制を整えている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書	A	適正な管理に努めた。	A	建物や施設の管理を行い、必要な修繕等の対応をとっている。
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書	S	新型コロナウイルス対策として、事業計画以上に対応が求められた中、蔓延防止対策や人員配置など児童・保護者ともに安心感をより提供できた。	A	新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、事業計画に基づき、適切に事業が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書・月次報告書	A	事業計画に沿った利用状況であった。	A	事業計画に沿って、適切に利用児童の保育が実施されている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか 利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	利用者満足度報告	A	適切に実施した。	S	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか。	現地調査・ヒアリング	A	適切に実施した。	A	必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているかなど	事業報告書・ヒアリング	S	新型コロナウイルス対策等で保健所、行政、学校等とより密接に連携を取り、適切に対応した。長年の運営実績により、市からの過去事例の問い合わせに迅速に回答した。	A	市と連携し、児童・保護者へ安全・安心を提供した。学校等の関係機関と情報共有を行い、適切に連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書・ヒアリング	A	適切に実施した。	A	適切に実施している
	会計	処理 管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	学童保育事業を含めた社会福祉法人として監査等を実施している
	管理 現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適切に管理されている	
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか、予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	令和4年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。	A	法人として適切に運営されている
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていないか。	令和4年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。資産状況を踏まえ、計画的な運営を行っている(-1.0%)	B	法人として適切に運営されている
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	令和4年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。(72.3%)	A	法人として適切に運営されている
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	令和4年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。(306.2%)	A	法人として適切に運営されている

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	5	<p>記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながらの運営となったが、当協議会が長年培ってきた安心安全に根差した学童保育の体制づくりにより、平常通りの体制を崩すことなく進めることができた。 ・清掃、新型コロナウイルス感染症対策としての消毒作業については毎日実施し、更に衛生管理に努めた。 ・児童を対象とした地震、火災、不審者の侵入、災害などの避難訓練の実施に加え、指導員を対象とした不審者対応訓練や応急救護講習を実施し、より安全な学童保育の運営に努めた。 ・市、学校などの関係機関との連絡や情報共有を密接に行い、保護者への迅速な情報提供や、密を避けるための保育スペースの確保等に努めた。 ・集まることが難しい状況下でもウェブ会議形式で研修会、職員会議を実施し、コロナ禍における保育をよりよいものとするに努めた。 ・行事の実施については、大きな制約のあるなか、内容の縮小やおやつの工夫など、できる形での実施に取り組み、ほかにも季節感を取り入れた制作など、子ども達が楽しめるよう学童保育所運営に取り組んだ。 ・毎年実施しているアンケート結果をふまえ、改善に向けて対応に努めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼関係づくりに努めた。 ・小破修繕については、迅速に適宜対応した。
A	16	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	4	<p>記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定や事業計画に沿って、事業の実施・管理運営を行った。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、長年培ってきた経験を生かし、安定した事業運営を行った。 ・児童や保護者とも円滑なコミュニケーションをとっている。 ・校や関係機関と定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。 ・種季節に応じた行事の実施や制作作業など、コロナ禍ではあるが、工夫して児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。
A	16	
B	1	
C	0	